

ザ・クインテッセンス／2015. 2月号

○特集4／MFTのススメ 子どもたちの口腔機能育成に取り入れよう！(清水清恵)

*MFT(Myofunctional Therapy)とは口腔周囲筋の不調和を改善するための筋肉の訓練法である。①個々の口腔周囲筋②咀嚼、嚥下、唾液の収集③正しい舌や口唇の姿勢位を習慣化の3点を訓練の主軸として、鼻呼吸促進、構音のための補助レッスン、全身の姿勢指導を適宜行いながら口腔周囲筋が安静時および咀嚼・嚥下・発音・呼吸時に正しく機能を営めるようにするものである。乳幼児期に正しく“食べる、飲む”習慣を身につけ、また口元を使った遊びなどを通して機能が正しく習熟されていくのが理想であるが、子どもたちの口元を観察すれば軌道修正が必要と思われる場面に遭遇する。MFTは患児自身が取り組んで結果を出す療法であり、長い人生を支える口腔の健康観の育成や成功体験の学習にも有効である。写真、動画で訓練の方法を解説し、症例提示もありわかりやすい。

歯界展望／2015. 2月号

○特別寄稿 生体防御の視点からとらえる“骨縁下欠損”②(福岡市開業 高島昭博)

*著者が、一開業医として行ってきた骨縁下欠損に対する治療の、20年に及ぶ症例を下記の治療法別に検証・紹介している。

1. 歯周外科のみ 2. 人工骨移植(アクトセラムK、オステオグラフトS)
3. エムドゲイン 4. 歯の自然移動 5. 歯の矯正移動 6. 咬合調整
7. スプリンティング

最後に左右側同一歯遠心骨縁下欠損症例の18年経過について、欠損の形態、失活か生活歯か等の検証も含め提示していて、長期における管理の難しさを考えさせられる。

○インプラント材料：臨床の疑問に答える・・・2-科学的性質-

(東京歯科大学口腔科学研究センター 吉成正雄)

*質問に答えるという形で、わかりやすくまたコラムも挿んで提示していて興味深い。

- Q1 金属の腐食と変色は、何が違うのですか？
- Q2 チタンは錆びないと言われていますが本当ですか？また、ジルコニアはどうですか？
- Q3 それでもチタンの耐食性は大丈夫ですか？
- Q4 チタンはどのような薬剤に弱いのですか？
- Q5 フッ化物をチタンに対し使用するのは危ないのですか？
- Q6 チタン合金からのバナジウム(V)、アルミニウム(Al)の溶出は大丈夫ですか？
- Q7 義歯洗浄剤の影響はどうですか？
- Q8 インプラントは腐食により壊れることがありますか？

以上の質問に明確な答えが思い浮かばなかったらご一読ください。

デンタルダイヤモンド／2015. 2月号

○実践歯学ライブラリー：オーダーメイドの審美修復

—患者が満足するジルコニアセラミックスの臨床(川本善和)

*一口に歯科用ジルコニアと言っても、組成から3つに分類され、それぞれ特徴がある。フルジルコニアは形成量を守れば、破折することはほとんどなく、金属に変わる補綴材料と言える。しかしながら、審美性を追求すれば、前装は必要である。前装すれば従来のメタルボンドと同じように破折が生じる。そのため、破折を防ぐためのコーピングデザインや接着・研磨について、詳しく記載されています。また、多くの症例も提示されています。興味深い内容です。

○Dd 消毒・滅菌セミナー：ヒトとモノから考える当院の院内感染予防(浪越建男)

*香川三豊市開業22年目の先生です。開業当初から、タービン・エンジンの患者ごとの滅菌・消毒はもとより、血液ではなく唾液の飛散を考慮した滅菌・消毒システムの構築に取り組んでいます。滅菌消毒の徹底にまず、大切なのは滅菌に取り組むヒトであり、そのヒトを助ける器材の導入が院長の役目であると述べています。本特集では目指す滅菌消毒の基準をクリアするための具体的な方法や数字も記載されています。身近な歯科医院の取り組みです。是非、ご一読ください。

日本歯科評論／2015. 2月号

○＜特集＞この症例からはじめてみよう 前歯部の限局矯正(大谷淳二 佐野良太)

*本格矯正は専門の先生に任せるとして、前歯部をちょっと動かせたらきれいになるのにか、少し動かすだけで補綴がやりやすくなるのになどと思ったことはありませんか。本特集はそういった一般開業医の先生方のために、矯正歯科の基礎知識から始まり、前歯部の限局矯正の症例提示とその解説まで詳しく述べています。矯正をはじめてみようと思っている先生、まだはじめてばかりの先生にはぜひ読んで参考にさせていただきたい特集です。

○歯の外傷患者は突然やってくる！ そのとき適切に対応するために(完)

2. 幼若永久歯外傷歯への対応(久保周平)

*連載第2回は幼若永久歯外傷歯への対応です。小学校入学直後の学童期は活発に行動する時期で怪我が絶えないといっても大げさではありません。そしてその状況は乳歯の場合とはちょっと違います。歯冠破折が多く、時に根末完成歯の場合もあります。前回と合わせ、状況による処置内容を身につけてください。これで学校からの突然の依頼にも落ち着いて対応できると思います。